

今月から講師デビュー

プロドラ準1級を取得



認定証を掲げる
佐賀課長(左
端)、亀山取締
役(右端)と東
海林社長

安全・品質アツプへ指導

萬運輸(東海林憲彦社長、横浜市鶴見区)の管理者2人が、日本トラックドライバー育成機構(JTDO、酒井誠代表)のプロドラ準1級インストラクターに合格し、2日に酒井代表から認定カードが授与された。2人は7日からプロドラ認定講座の座学講師としてデビュー。社内外で安全・品質レベルアツプを指導すると同時に、実技指導が行える1級取得も目指す。

(吉田英行)

萬運輸

認定を受けたのは、同社の亀山清雄取締役と運輸企画業務部運輸購買課の佐賀建夫課長。8月にJTDOのトレーニングセンター愛知(愛知県大府市)で4日間のカリキュラムを修了して合格。酒井代表が社長を

務める鳴海急送(同)以外で初のインストラクター資格取得者となった。プロドラ準1級インストラクター養成講座では、①トラックの安全な運転に関する基本的事項②危険の予測と回避③交通事故を防止するために留意すべき事項④日常点検とトラックの構造上の特性——から1コースを選択。学科試験で知識を問うだけでなく、パワーポイントによる資料作りや事例発表の

実習も行う。亀山氏は「『危険の予測と回避』のコースを選んだが、現場の事例、経験談、失敗談などを盛り込みながら、全体のストーリーを組み立てるのが大変だった」と振り返る。

また、「交通事故を防止するための留意すべき事項」を選んだ佐賀氏は「日頃、社内安全講習のため各営業所を回っているが、外部認定では『分かりやすく伝える』ことがポイントになる。受講生に質問を振る練習などもした」と話す。2人は今後、実技講習を行える1級へのステップアツプに臨む。更に、全国トラックドライバー・コンテストへの出場も視野に入れる。

力会社も運送業界全体も、今よりもっと高いレベルの安全・品質の取り組みができるようになれば、との思いで2人を送り出した。将来的には自社の拠点でプロドラ認定講座を行い、自社と協力会社のドライバー全員の3級取得を目指したい」と話している。

東海林社長は「自社も協